



防災かわら版

最新情報をお届けします

新総合体育館（愛称・よつ葉アリーナ十勝）の供用開始に伴う避難所の運用の変更や、暮らしと防災ガイドの改訂など、防災に関する最新情報を紹介します。

問い合わせ 総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

総合体育館が避難所に指定されている地域の人へ

これまで、総合体育館は洪水の危険性が高いことから、洪水時には避難所として利用できませんでしたが、総合体育館の建て替えに伴い、2階以上の避難スペースを確保したことから、今後は洪水時にも避難所として利用します。今後の運用は次の通りです。

12月31日まで
現在の総合体育館
（洪水時は帯広市役所へ避難）
1月1日から
新総合体育館
（洪水時は2階以上へ避難）

これまで通り、帯広市役所など他の避難所も利用できます。洪水の危険が見込まれる場合は、降水予報や帯広市からの避難情報などを確認して、より安全な地域へ早めに避難してください。

なお、新総合体育館の一般利用での供用開始は2月29日(土)からです。詳細は12頁をご確認ください。



暮らしと防災ガイド（イメージ）

暮らしと防災ガイドを改訂します

国や北海道の管理河川の洪水浸水想定したハザードマップの変更に伴い、平成28年に全戸へ配布した「おびひろ暮らしと防災ガイド2016」の見直しを進めています。新しい防災ガイドは、令和2年3月頃に全戸に配布する予定です。

なお、国や北海道の管理河川の洪水浸水想定した最新のハザードマップは、市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



冬季防災訓練

冬の災害を想定した救助訓練や炊き出しの試食を行うほか、中学校の体育館に宿泊して避難所生活を体験します。また、親子向けの防災講座も実施します。（日帰りでの参加も可能）

日時 1月25日(土) 13時～26日(日) 8時
日帰りは25日(土) 18時30分まで
場所 川西中学校(川西町西3線60)
定員 各先着、日帰り50人、宿泊50人
申し込み 1月14日(火)までに、電話で総務課へ。



防災グッズ展

家庭で備える防災用品や、市の防災資機材を展示します。

日時 1月14日(火)～17日(金)、9時～17時(最終日は15時まで)
場所 市民ホール(市庁舎1階)



防災イベントのお知らせ

日頃の備えを確認するほか、応急手当や災害救助などを体験するイベントを開催します。ぜひご参加ください。

第15回 まちづくりデザイン賞



最優秀賞 高堂建設株式会社 新社屋(東1南16)

建設会社の社屋として平成31年4月に建築されたもので、白を基調とした、圧迫感を抑えた清潔感のある外観であり、非常階段を外から見えないように工夫するなど、景観への細かな配慮が見られます。

また、四季を意識した植栽などにより、潤いのある空間を創出しているほか、建物南側には、帯広になじみ深いヤマモミジや、十勝産の石材などを用いて、地域に開かれた「匠の杜」を設けるなど、今後も周囲の良好な景観形成を先導していく役割が期待できる点などが高く評価されました。



特別賞

salon 齋藤亭(東2南4)

昭和9年築造時の姿を残す、貴重な建築物です。平成27年に建築当時の面影を残したまま、外構や内装の大規模なリフォームが行われており、時が経過しても適切に維持・管理することによって、潤いある空間を創出することができることを教えてください。

現在は、敷地内の植栽や趣ある建築物が地域の人々の目を楽しませているほか、さまざまな用途に対応した「古民家コミュニティ施設」として地域に開放されるなど、良好な景観形成や、市民の景観への意識向上に寄与することも期待できる点が評価されました。



すてきな都市景観を 紹介します

帯広市まちづくりデザイン賞

令和最初の、帯広市まちづくりデザイン賞が決定しました。

問い合わせ 都市計画課（市庁舎6階、☎65・4175）

まちづくりデザイン賞とは

青く広々とした空、日高の山並み、緑豊かな自然。こうした帯広のイメージと調和し、人々に潤いや安らぎをもたらす良好な景観の形成を推進するため、市では、平

成17年に「帯広市まちづくりデザイン賞」を設けて、優れた建築物を表彰しており、これまでに19件の建築物が受賞しました。令和元年度は、「帯広市都市環境デザイン委員会」による現地視察や協議を経て、2件の建築物が選ばれました。

すてきな景観、こちらからも



都市計画課
Instagram
instagram

#おびひろのこと
#obi_scape

こちらから▶



まちづくりデザイン賞は、毎年7月1日から2カ月間募集をしています。普段まちを歩いている時など、皆さんが魅力的に感じた建築物をぜひ応募してください。